



鹿児島堀口製茶有限公司



化学農薬だけに頼らない **鹿児島県**

スマートIPM農法による輸出向け茶の産地化

輸出品目 **抹茶原料、ほうじ茶原料 等**
4品目

輸出国 **米国、台湾、ドイツ 等**
約10か国

契約農家を含む約 270ha にてスマート IPM 農法 (IPM とスマート農業の造語) を導入することで化学農薬に頼らない栽培方法を実践し、輸出に対応した茶葉を生産。荒茶を海外原料用としてバルクで輸出対応。主に米国向けには業務用抹茶の原料、台湾向けには煎茶、ティーバッグの原料となっている。

また、自社ブランドの「TEAET (ティーとダイエットの造語)」や「抹茶缶」等を米国の専門店等に輸出しており、ファッションブランドがクリスマスイベント等で取り扱っている。



茶畑戦隊チャレンジャー



新設した碾茶工場



海外の商談会の様子